

評価基準に基づく評価項目別の総合値  
(令和6年度戦略的鳥獣害対策技術構築業務 公募型プロポーザル)

評価項目	配点	参加者別評価値
		戦略的鳥獣害対策技術構築業務コンソーシアム
<b>1 事業全般</b>		
① 広島県内の野生動物による農作物被害やその対策の実施状況及び全県を対象に、高度な技術力を有し、広域的な視点を持つ市町の専門職員(以下「市町専任者」という。)が集落等による対策の実施を支援する体制構築の必要性を理解した上で、事業目的の達成に向けて、各取組が有機的につながり、相乗効果を生み出すよう考慮されているか。	4	51
<b>2 市町専任者の育成カリキュラム・活動マニュアル等の作成</b>		
① 市町専任者が現地指導を行う上で備えるべき知識やスキル等を体系的に習得できる育成カリキュラムの作成方法について、具体的かつ効果的な内容が提案されているか。	4	51
② 取組の関係者が把握すべき市町専任者の活動内容を市町専任者が効率的に記録するための活動マニュアル等の作成方法について、具体的かつ効果的な内容が提案されているか。	4	42
<b>3 市町専任者に対する研修の実施</b>		
① 2①の育成カリキュラムに沿って、効果的に技術を習得できる研修の実施方法について、具体的かつ効果的な内容が提案されているか。	4	48
<b>4 全県を対象とした支援体制に賛同していない市町の専任者への技術支援</b>		
① 未賛同市町の専任者への技術支援対応について、全県を対象とした支援体制への賛同につながる目論見を持った具体的かつ効果的な内容が提案されているか。	4	48
<b>5 活動成果の取りまとめ</b>		
① 市町が、全県を対象とした支援体制に賛同するための判断材料に資する、市町専任者による活動成果のとりまとめ方法について、具体的かつ効果的な内容が提案されているか。	4	32
<b>6 本業務の目的に応じたその他の提案</b>		
① 各事業の成果を押し上げるために、具体的かつ効果的な内容が独自提案されているか。	4	28
<b>7 事業実施体制</b>		
① 適正人数の運営スタッフの確保と分担がなされており、事業を円滑に実施できる体制となっているか。	4	32
<b>8 経費内訳</b>		
① 経費の内訳が明確であり、妥当性があるか。	4	32
② コストの有効性について、見積価格を基に、次の算定式で判断する。 配点(8)×(提案者中の最低見積金額)÷(当提案者見積金額) ※小数点以下を切り捨て	4	40
		404